主要事業 2 水源の分散配置

次世代 つながる 環境

札幌市は、水源の約 98%を依存している豊平川以外に安定した水源を確保するため、当別ダムを水源として水道水を供給する石狩西部広域水道企業団（以下「企業団」）に、北海道、小樽市、石狩市、当別町とともに参画しており、将来、企業団から１日当たり最大 44,000㎥の水道水を受水する計画です。

これにより、市外に水源や浄水場を分散配置できることから、豊平川で局所的な豪雨に伴う高濁度や油の流入による汚染などの重大な水質事故等が発生し、取水できなくなった場合でも一定量の水道水を確保することが可能となります。また、白川浄水場の改修や基幹施設である西部配水池までの送水ルートの二重化としても活用できます。

企業団では、平成 25(2013) 年度から札幌市以外の市町に給水を開始しており、札幌市としては令和 7(2025) 年度からの受水に向けて、引き続き企業団の運営に協力していきます。

効果

・豊平川で重大な事故があったときにも一定量の水道水を確保できます

取　組	**石狩西部広域水道企業団への参画継続** ● 企業団へ参画し、その運営に協力します。
ビジョン後半5年間の予定事業費(2020～2024年度)	55 億円（企業団の経営に対する負担金等）

【図表27】石狩西部広域水道企業団の施設配置図